

あさひの詩



白山市立朝日小学校
道徳だより NO.4
R6. 10. 25

道徳科の授業の様子についてお知らせします。今回は3年生の授業です。

3年生「お日様の心」 テーマ：構成、公平、社会正義

あけみのおばあちゃんは誰にでも親切。ある朝あけみが聞くと、「お日様のことを考えてごらん。お日様は、いつでも、どこでも、だれにでも、にこにこ顔でてらしてくれる。おかげでみんなが気持ちよく生活できる。おばあちゃんも、それをみならって、だれとでもなかよくする、お日様の心を持ちたいと思っているんだよ。」とおばあちゃんは言った。

あけみのクラスには学級あそびを計画する係があり、遊びによく参加した人には手作りのカードが配られる。しかし、仲の良い友達だけに特別なカードが渡されて、他の人には四角いだけのカードが渡されていた。あけみはおばあちゃんの話思い出し、係の子に話してみた。

この学習は、誰とでも仲良くするために、大切なことは何かを考え、誰とでも仲良くするためには、時と場と相手を考えてみんなを思いやり、公正に接しようとする心と行動の大切さについて考えることを目的としています。

なかよしの友だちだけにとくせいのカードをくばることはよくないことかな。また、それはどうしてかな。



なかよしのひとたちだけしかもらえなかったらせつかくいっぱい参加したのにあんまり仲良くない人たちは特別なカードをもらえなくて悲しいし、不公平じゃけんかになるし、仲間はずれはさみしいからそうだと思います。

「お日様の心」とは、どのような人の心かな。また、そのような心で人とせつすると、どのようなよいことがあるだろう。



誰でも仲良くなるような心です。そのような心でいると、だれとでも仲良くなれるし、周りにいる人が嫌な気持ちにならないからです。



☆学習後のふり返り☆

- ・お日様の心の人には親切な優しい人で、困っている人などを助けて他の人も嬉しくなります。
- ・誰にでもニコニコしていて、誰にでも優しく出来ていることがお日様の心だと思いました。
- ・友達にだけ特別にすると、特別じゃない人は自分が仲間外れだと感じてしまうから、みんな平等がいいと思いました。
- ・人を嬉しくすると、みんなが嬉しくなって自分も嬉しい気持ちになると思いました。